

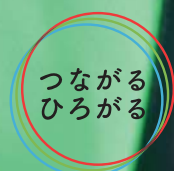
まぐまぐ

地域清掃頑張ってます

Summer 2nd

社会福祉法人MAG 2025. 8. 31

1



MAG

ごあいさつ

「まぐまぐ」夏号をお届けします。過去に経験のない猛暑のなか、利用者の皆様が少しでも安全で快適にお過ごし頂けるよう創意工夫しながら日々サービスを提供させて頂いています。このような状況のなかで、今回も子どもから高齢者まで素敵な笑顔が集まりました。各事業所のベストショットをご笑覧いただき、皆様の残暑を乗り越える糧となれば幸いに存じます。お気づきの点やご意見などございましたら編集後記連絡先までお問い合わせ下さい。

業務執行理事 那須 健太郎

それぞれの事業所から

第1 福祉課

障がい者支援施設エデンの園（ゆりこすもす） サブリーダー 濱田 誠

ゆりこすもすエリアでは、春からプランターにて、ナス・ミニトマト・ピーマンを育ててきました。利用者みなさんで水やりをしたり職員が肥料を撒くなど、一緒に頑張ってきた成果が少しずつ実になってきましたので、7月16日に収穫祭と称したミニピザづくりをしました♪

調理はさみを使って野菜を刻んでいただき、ギョウザの皮に野菜とチーズを、トッピングしました！待ちきれない様子の利用者もいて、作る過程から楽しんでもらったのではないかと思います！

出来上がったミニピザを、15時のおやつタイムでみんなで食べました！一瞬でなくなってしまふほどの食べっぷりで、美味しく出来たことがよくわかった光景でした♪また秋野菜を植えて、次回の収穫祭も計画していきたいと思います。



生活介護事業所あゆむ 管理者 光森 勇人



8月1日から31日まで国富町役場文化総合会館にて作品展を開催いたしました。

利用者のみなさんが日々の創作活動や余暇時間に制作された作品を展示し、地域の方々へ披露する機会を頂きました。夏休みという事もあり、多くの方が作品展に足を運んで下さり、利用者のみなさんの励みにもなりました。

今後も、定期的に利用者のみなさんの活躍・披露の場を設けながら、日々の活動への活力に繋げていけたらと思います。

びえんと居宅介護支援事業所 管理者 長友 茂

令和7年8月で開業4年目に入ります。あっという間の3年間でした。

びえんと居宅介護支援事業所は、主任介護支援専門員2名と介護支援専門員2名の計4名体制で、国富町と宮崎市を中心に支援を行っています。

利用者やご家族の「ありがとう」を励みの一つとして、「介護が必要になる前の暮らしに近づくように日常生活が送れるようになること」を念頭に置きながら自立支援とはを考えていきたいと思っています。

当たり前の日常とは言いますが、その実現に近づくための一助に私たち介護支援専門員が寄り添いながら、今後も支援を行います。



第2福祉課

りんぐ リーダー 東屋 理香

皆さま、こんにちは。いつもグループホームりんぐの活動に温かいご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。

8月に入り、暑さも本格的になってまいりましたが、ホームでは体調管理に気を付けながら、利用者一人ひとりが快適に過ごせるように支援しております。

今月は、夏の風物詩である「スイカ割り」「冷や汁作り」、夏祭り週間として「ヨーヨーすくい」「金魚すくい」を計画しております。考えるだけで、「涼しい〜!」。このように季節を感じられる行事を通し、暑いひと時を笑顔で過ごせたら良いなと感じております。また、8月からは、管理者の木下、リーダーの東屋が新たに配属となり、新体制でスタートを迎えております。今後も、利用者、ご家族、地域の皆さまとの繋がりを大切にしながら、安心して過ごせるグループホーム作りを進めてまいります。どうぞ引き続き、よろしくお願い申し上げます。

体調を崩しやすい時期ですので、皆さまもどうかご自愛くださいませ。



放課後等デイサービス麦わらぼうし

管理者 日高 善江

放課後等デイサービス麦わらぼうしでは、「川」や「プール」で夏しかできない水遊びをたっぷり経験しました。

この貴重な自然体験を通して心も身体も一回り大きくなった子ども達は、麦わらぼうしを飛び出して、少人数でのグループ活動にも挑戦し、仲間と一緒に電車に乗ったり、空港や科学技術館の見学、宮交シティやタイヨーでお買い物をしたりと、しっかり『社会勉強』もしてきました。

楽しい夏の体験は郷土愛にも繋がり、国富町の郷土玩具「うずら車保存会」の方を迎え、うずら車の絵付けに挑戦!!

「楽しい」「また行きたい」「またやりたい」という子ども達の声は、麦わらぼうしの宝です。今後も『子どもがまんなか』で、職員みんなで支援していきます。

つむぎ 職業指導員 外赤 純子

暑い日々が続いていますね。つむぎでも畑での除草作業や清掃作業を利用者と一緒に汗をいっぱいかきながら頑張っています。

そんな皆さんを労おうと、8月2日にBBQ大会を行いました。当日は利用者、職員も一丸となってつむぎ内の清掃から始まり、BBQコンロの設置や火おこし、テーブル配置などを手分けして行いました。待ちに待ったお肉が焼き上がり、皆さんで美味しくいただきました。お肉と一緒に食べたご飯は、当日利用者のご家族から頂いた新米です。季節の恵みありがたいですね。そして自分たちが稼いだ工賃で食べるお肉は美味しいですね!!

午後からは、カラオケ♪今回はつむぎ紅白歌合戦!!と題し、男性と女性に分かれて、一生懸命に好きな歌を歌いました。職員も含め20名ほどの方の歌が終わり、審査の結果、白組の勝利!!! たくさん食べて笑って歌って、とっても楽しい一日となり、来週からもまたお仕事をがんばろうと決意を新たにしました。



第3 福祉課

結 職業指導員 齋藤 和男

結ではこれまで外部の施設清掃作業などを通して、地域や社会との結びつきを大事にしていってまいりましたが、今年度より自前でのカレー販売を計画し、5月に試食会を2回、6月に法人内での販売を開始し、試行錯誤しながらようやく形になってきました。7月からはいよいよ外部向けに販売を行い、結から地域へ発信をしております。利用者においては、食材の買い出しから野菜の切り込み、カレーの盛り付け等、心を込めて作っていただいています。ぜひ結のマグカレーを食べて、暑い夏を一緒に乗り切りましょう！



るるテラス 相談支援専門員 谷口 博孝

照りつける太陽とセミの鳴く声が響く暑い日々が続いておりますが皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、今年で開業2年目を迎えた「るるテラス」ですが、4月より新富町内の相談支援事業所と共同体「パル」も始動し様々な困難事例への検討会や意見交換を行いよりよい方向へ進めていくためのアイデアをいただくなど学ぶことの多い毎日です。

一人の力では息詰まることも人と手を取り合い支えあうことで新たな道を模索し前に進む力になることを感じることの多い日々を過ごしています。

人が生きていく上ではなにかと大きな問題に直面することがありますが、一人で抱え込むのではなく周囲の身近な人やお住いの地域の役場等に相談することで道が開けることがありますので人と人とのつながりを大切にしつつ元気に楽しい生活を送ることができればと思います。まだまだ、気温の高い日々が続きますが手を取り合ってこの暑い夏を一緒に乗り切っていきましょう。

軽費老人ホーム コーポ住吉荘 マネージャー 櫻木 香

4月は、クラブ活動で脳トレ！「難しかった！」「楽しかった！」みなさんの特技の見せどころ！

5月は、運動会！「赤団・白団がんばれ～！」

6月は、市民の森花菖蒲祭りへ！「昔より数が減った～」との声も、みんなでキレイな花を観賞してご満悦。

7月は、夕涼み会。ゲームや余興で大笑い。生憎の天気で花火は別の日になったけどみなさん大満足！

8月は、みんなで植えたひまわりが咲きました。咲いた花に負けないくらい、みんなの笑顔もニコリ。盆供養のため法輪寺の住職様が来られ、穏やかな読経の声とお線香の香りに静まる時を過ごしました。



ひかり (研修レポート) 法人後見専門員 大山 貴司

意思決定支援と成年後見制度の調和

2025年7月25日・26日の2日間、意思決定支援をテーマとした研修を実施しました。初日は全国権利擁護支援ネットワーク主催による中核機関向け研修会（KITENビル、ハイブリッド開催）で、成年後見制度の動向や中核機関に期待される役割について確認しました。講師からは「制度に依存するだけでは支援が形骸化する危険性がある」との指摘があり、制度の枠を超えて“その人らしさ”を支える姿勢の重要性が強調されました。グループワークでは現場の課題やジレンマを共有し、迷いや悩みを分かち合うことが支援の質を高めることを再認識しました。

2日目は法人内研修「できないを決めつけない支援」と題し、全職員を対象に対話型で実施しました。職員の悩みに対し、講師から「意思はあることを前提に支援する」「迷うこと自体が専門性につながる」との助言がありました。また、「できない」と決めつけず挑戦に寄り添う姿勢や、失敗も安全に経験できる場をつくること、金銭管理においても小さな選択に“その人らしさ”を尊重する姿勢が強調されました。

2日間を通じて、制度に合わせる支援から「その人に合わせる支援」への転換が求められていることを実感しました。唯一の正解はなく、支援者が迷い、立ち止まり、考え続けることが質の向上につながります。今後も法人内外の研修を活かし、意思決定支援の実践と文化を育んでいきます。

社会福祉法人MAG

令和 6 年度決算報告書 (法人全体)

財 産 目 録

貸 借 対 照 表

令和 7 年 3 月 31 日現在 (単位：円)

資産・負債の内訳	金 額
I. 資産の部	
1. 流動資産	459,804,664
2. 固定資産	1,008,263,581
資 産 合 計	1,468,068,245
II. 負債の部	
1. 流動負債	56,216,914
2. 固定負債	29,853,350
負 債 合 計	86,070,264
差 引 純 資 産	1,381,997,981

令和 7 年 3 月 31 日現在 (単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	459,804,664	流 動 負 債	56,216,914
		固 定 負 債	29,853,350
		負 債 の 部 合 計	86,070,264
固 定 資 産	1,008,263,581	純資産の部	
		基 本 金	423,366,183
		国庫補助金等特別積立金	142,212,022
		その他の積立金	133,681,521
		次期繰越活動増減差額	682,738,255
		純資産の部合計	1,381,997,981
資産の部合計	1,468,068,245	負債及び純資産の部合計	1,468,068,245

資金収支計算書

(自)令和 7 年 1 月 31 日 (至)令和 7 年 3 月 31 日 (単位：円)

事業活動による収支	収 入	135,253,899
	支 出	105,164,753
	収 支 差 額	30,089,146
施設整備等による収支	収 入	0
	支 出	400,000
	収 支 差 額	△400,000
その他の活動による収支	収 入	4,463,784
	支 出	5,228,736
	収 支 差 額	△764,952
当 期 資 金 収 支 差 額		28,924,194
前 期 末 支 払 資 金 残 高		398,734,650
当 期 末 支 払 資 金 残 高		427,658,844

事業活動計算書

(自)令和 7 年 1 月 31 日 (至)令和 7 年 3 月 31 日 (単位：円)

サービス活動増減の部	収 益	134,551,087
	費 用	131,821,783
	サービス活動増減差額	2,729,304
サービス活動外増減の部	収 益	702,812
	費 用	58,297
	サービス活動外増減差額	644,515
特 別 増 減 の 部	収 益	0
	費 用	4,614,708
	特 別 増 減 差 額	△4,614,708
当 期 活 動	増 減 差 額	△1,240,889
繰越活動収支差額の部	前期末繰越活動増減差額	680,112,220
	当期末繰越活動増減差額	678,871,331
	基 本 金 取 崩 額	0
	その他の積立金取崩額	3,866,924
	その他の積立金積立額	0
	次期繰越活動増減差額	682,738,255

バスケに懸ける想い～世界と地域をつなぐ～

私たちの法人には、バスケットボールを通じて地域や世界で活躍している職員がいます。

今回は、平塚天清さんの活動をご紹介します。

平塚さんは、障がい者スポーツクラブ「ブルーホーク」のメンバーとして、週1回の練習や大会に参加しています。今年6月には、カザフスタンで開催された世界大会に出場し、見事3位入賞(銅メダル)という素晴らしい成績を収めました。

さらに、一般の「野尻クラブ」でも週1～2回、2部リーグのメンバーとして活動。バスケットボールをこよなく愛し、球技の粋を超えてさまざまな場面でプレーしています。

また、地域貢献の一環として、国富町の中学校のバスケットボール部に時折指導にも行っています。今後は、宮崎市内でも子どもたちへの指導をするなど活動を広げていきたいと考えています。



プロフィール

平塚 天清：第1福祉課

障がい者支援施設エデンの園勤務

26歳

小学生の頃からバスケットボールを始める。

18歳から障がい者スポーツクラブ「ブルーホーク」に参加

翌年からは「野尻クラブ」にも所属

現在、地域の中学校でバスケ指導も行う

好きな言葉：「あきらめない」

「もっと多くの方に、僕たちのクラブや活動のことを知ってもらいたいです。ぜひ、見学や大会の応援にも来てください！」

平塚さんはそう語ってくれました。

地域と世界をつなぐその活動を、私たちも応援していきましょう！

※まぐまぐは日本FIDバスケットボール連盟を応援しています。

土曜学校メッセージ

- 金 恒基 牧師（宮崎めぐみ聖書教会）
- 張 宇成 牧師（宮崎教会）
- 荒平 大輔 牧師（宮崎北聖書キリスト教会）
- 山口 英希 牧師（宮崎清水町教会）
- 浅野 謙 牧師（きりしまキリスト教会）

寄贈・寄附金ありがとうございます (5月～8月)

九州医療専門学校様、あすか保険センター佐土瀬様、
幸野進也様後見人・野元あゆみ様、上野弘一様母親・上野聖子様、
押川絵麻様、梅木和久様ご家族、ジブラルタ生命黒木様
野元あゆみ様、林青果様、野口秀郎様、上野聖子様、
川越裕美様、森工務店様、コスモ設計様、鹿嶋和俊様、
内野浄子様、ライフサポート瀬戸山様、山田喜代美様
アクティブ情報システム様、内野誠也様父親・内野靖夫様、
日高潤一郎様、宮王丸郵便局様、宮崎マルキプロバン様、
平井オートサービス様、横山レイ子様、宮本匡久様

編集後記

季節は秋に向かっておりますが、今年は記録的な暑さが続いており、10月頃まで暑さが続くといった情報もあります。事業所での熱中症対策、感染症対策をしっかりと取りながら、課外活動や外出などこの季節らしい色々な活動ができればと思っています。

事務局 時任 康弘

■発行日 2025年8月31日 ■発行 社会福祉法人MAG ■発行者 ゼネラルマネージャー 那須 健太郎

〒880-1114 宮崎県東諸県郡国富町三名2621-5 TEL.0985-75-4936 FAX.0985-75-0616

<https://mag-sw.com/> E-mail jimukyoku@mag-sw.com